

研修NO.

17-60

経営がみえてくる会計情報の活用 (校外研修:山形市)

会計情報の「経営」への活かし方を学ぶ1日コース

対象者

経営者・経営幹部・管理者等

研修のねらい

すべての企業は決算書を作成していますが、そこに秘められた会計情報を「経営」に活用していくことが、経営力を高めるカギとなります。

本研修では、決算書等の基本的な財務諸表を有効活用し、経営体質強化をしていくための原理原則を学ぶとともに、合理的な経営を展開するための考え方や方法及び経営を強化するための実践的知識を習得していただきます。

このような方におすすめ

- ★経営に活かす決算書の見方を学びたい方
- ★経営体質の改善方法を学びたい方
- ★売上計画・利益計画・資金計画の策定方法を学びたい方

実施期間

全1日間(6時間)

2018年2月14日(水)

会場

霞城セントラル 15階「商工団体会議室」(山形市城南町1-1-1)

※車でお越しの方は、会場又は近隣の駐車場をご利用下さい。

定員

30名

受講料

16,000円(税込)

※お申込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

受講生の声

- ◆管理会計に関する資料、予算など業務で作成していた資料が、何故作るのかという基本と漠然と理解した内容がはっきりと見えた気がします。
- ◆すぐ活用できる知識が多かった。

研修カリキュラム

日程	研修テーマ	内容
2/14(水) 9:30~16:30	1.会計情報を経営に活かす基本を学ぶ ①経営のための会計	<ul style="list-style-type: none"> ●会計情報を経営に活かす(概論) ●会計の原理原則(利益とキャッシュの関連) ●キャッシュ・フロー経営の本質(利益を確実に出す、資産を減らす、負債をコントロールする、資本を増やす)
	②経営の基本的な2つの方向について、経営効率から考える	<ul style="list-style-type: none"> ●経営効率は利益率と回転率で表現される。 ●みなさんの会社がどの方向で経営していけば良いのかといった戦略的意思決定の考え方
	2.会計情報の実践的活用を学ぶ ①具体的な経営体質改善の考え方をマスターしよう	<ul style="list-style-type: none"> ●収益性改善の考え方・実践法(売上、原価、粗利益、諸経費を組み合わせると収益性を改善) ●収益性を改善するための財産(資産)の運用法、資金(負債等)の調達法
	②実現可能な利益・資金計画を策定し、生き残る	<p>【ステップ1】 利益・資金計画の基礎となる損益分岐点の考え方と資金分岐点の考え方・実務での活用法</p> <p>【ステップ2】 来期重点方針を定め、目標売上高、変動費、利益率、固定費から利益計画をつくる</p> <p>【ステップ3】 利益計画に資金の運用調達を加味した資金計画(キャッシュ・フロー計算書)を策定する</p> <p>【ステップ4】 利益・資金計画を実現するための、資金管理、実績管理、資金繰り表の作成・活用を学ぶ</p> <p>※会社ですぐ使え、復習にも役立つCDソフト(Excel形式、ガイドブック付き)をお持ち帰りいただけます。</p>

※カリキュラムは変更となる場合がございます。

講師紹介

▶ 齋藤 勝美 (さいとう かつみ)

株式会社創造経営センター コンサルティング事業部 リーダー

専門商社・大手会計事務所勤務を経て、平成6年に入社。ゼネラルコンサルタントとして、卸売業、物流業、医療機関、薬局などの中小・中堅企業の経営診断・指導、新規創業支援等に携わっている。